

●創部 1957年4月 ●陸上部所在地 三重県桑名市
●本社所在地 大阪市西区京町堀1-3-17
●事業内容 軸受・等速ジョイント・精密機器商品等の製造および販売

出場が予想される選手 (○印はキャプテン)

北岡幸浩(きたおか ゆきひろ)○
82年11月2日生(31歳)
165㌢ 50㌜
奈良県
智辯学園高・東洋大出身

1500㌢	5000㌢	10000㌢	マラソン
-	14'15"99	28'51"90	2'10'51"

大久保幹也(おおくぼ みきや)
91年1月13日生(22歳)
174㌢ 58㌜
青森県
青森山田高出身

1500㌢	5000㌢	10000㌢	マラソン
-	14'13"30	29'52"58	-

梅枝裕吉(うめがえ ひろよし)
84年1月5日生(29歳)
174㌢ 59㌜
三重県
稻生高・日本体育大出身

1500㌢	5000㌢	10000㌢	マラソン
-	13'44"01	28'43"41	-

エドワード・ワウエル
90年10月3日生(23歳)
178㌢ 60㌜
ケニア
ムワリキ高出身

1500㌢	5000㌢	10000㌢	マラソン
-	13'13"80	27'13"94	-

山下直紀(やました なおき)
83年10月5日生(30歳)
154㌢ 41㌜
宮崎県
日章学園高出身

1500㌢	5000㌢	10000㌢	マラソン
-	14'03"24	28'59"86	2'16"11"

吉村光希(よしむら こうき)
94年3月20日生(19歳)
176㌢ 55㌜
岐阜県
中京高出身

1500㌢	5000㌢	10000㌢	マラソン
-	14'28"67	30'00"50	-

笹沼悠司(ささぬま ゆうじ)
84年12月3日生(29歳)
171㌢ 56㌜
栃木県
大田原高・日本体育大出身

1500㌢	5000㌢	10000㌢	マラソン
-	13'57"35	28'45"49	-

高橋悠我(たかはし ゆうが)
94年3月21日生(19歳)
179㌢ 60㌜
大分県
竹田高出身

1500㌢	5000㌢	10000㌢	マラソン
-	15'09"76	-	-

山下 洸(やました みなと)
88年11月15日生(25歳)
169㌢ 54㌜
愛知県
名古屋高・中京大出身

1500㌢	5000㌢	10000㌢	マラソン
-	13'57"45	29'15"95	-

久保田 隼(くぼた はやと)
94年11月23日生(19歳)
163㌢ 52㌜
長野県
中京高出身

1500㌢	5000㌢	10000㌢	マラソン
-	14'27"66	30'09"51	-

田中貴章(たなか たかあき)
90年3月13日生(23歳)
162㌢ 50㌜
三重県
稻生高・東洋大出身

1500㌢	5000㌢	10000㌢	マラソン
-	14'01"54	28'46"92	-

田辺一輝(たなべ かずき)
94年8月12日生(19歳)
170㌢ 54㌜
岡山県
滋賀学園高出身

1500㌢	5000㌢	10000㌢	マラソン
-	14'31"86	-	-

天野正治(あまの ただし)
89年6月29日生(24歳)
176㌢ 60㌜
大阪府
東大阪大柏原高・奈良産業大出身

1500㌢	5000㌢	10000㌢	マラソン
-	14'21"90	29'24"82	-

谷山 誠(たにやま まこと)
94年10月28日生(19歳)
176㌢ 62㌜
和歌山県
和歌山北高出身

1500㌢	5000㌢	10000㌢	マラソン
-	14'10"68	30'01"21	-

監督
亀鷹律良(かめたか ただよし)
62年3月3日生
岡山県
水島工業高出身

旭化成で1990年ニューイヤー駅伝優勝。98年全日本実業団10000㌢優勝。2011年にNTN総監督、12年に監督就任。

部長
堀田 勉(ほった つとむ)
62年2月21日生
三重県

副部長
小澤利之(おざわ としゆき)
64年12月29日生
静岡県

コーチ
川頭健一郎(かわずけんいちろう)
76年6月2日生
大分県
大東文化大出身

コーチ
渡邊紀人(わたなべのりひと)
80年8月5日生
栃木県
大田原高出身

昨年秋以降のおもな大会での個人成績

日本選手権3000㌢SC	山下 洸	1位	8'33"57
全日本実業団3000㌢SC	梅枝裕吉	3位	8'48"83
全日本実業団10000㌢	エドワード・ワウエル	2位	27'30"51
アジア選手権3000㌢SC	山下 洸	6位	9'00"17
国体3000㌢SC	梅枝裕吉	5位	8'42"99

小林雄一(こばやし ゆういち)
89年8月25日生(24歳) 172㌢ 60㌜
東京都 保善高・法政大出身

1500㌢	5000㌢	10000㌢	マラソン
-	-	-	-

9年連続
50回目出場
目標順位
8位入賞

本大会過去10年間の成績

04年	32位
05年	-
06年	37位
07年	24位
08年	21位
09年	15位
10年	15位
11年	13位
12年	13位
13年	23位



NTN

世代交代を意識してチーム作り
古豪復活へ将来見据えた布陣に

全日本大会は2012年まで4年連続で10番台を維持したが、前回は23位に低迷した。亀鷹監督は「若返りを図る時期に来ている」といい、今年には世代交代を意識しながらチーム作りをしてきた。

中部大会ではエース区間の4区に、25歳の山下洸を抜いてきた。さらに、廃部になった柳河精機から移籍した24歳の天野を5区に起用した。山下洸は今年の日本選手権で、3000㌢障害2連覇を達成。7月のアジア選手権(インド)では6位に入賞した期待の選手だが、駅伝では17・5㌜という距離の壁に苦しみ、区間5位。天野も区間5位と、思うような結果を残せなかった。

対照的に元気だったのが1区を走った29歳の笹沼と、2区のケニア人ランナー、ワウエル。どちらも区間新記録の快走だった。笹沼は、前回の全日本1区で区間21位と大ブレイクだった。「もう一度、1区を走りたい」と雪辱を誓うベテランは、前哨戦で結果を残した。

50回目の出場になる全日本では、将来を見据えて谷山、久保田の高卒新人どちらかを起用する方向だ。東洋ペーシング時代の第4回大会で2位に入った古豪。その復活への第一歩を刻む大会にしたい。

2011年 13位 4'57"10"

区間	距離	選手名	総合		区間	
			順位	タイム	順位	タイム
1区	12.3%	梅枝 裕吉	8	0'36"07"	8	36"07"
2区	8.3%	E・ワウエル	3	0'58"38"	4	22"31"
3区	13.6%	池谷 寛之	5	1'38"02"	10	39"24"
4区	22.0%	北岡 幸浩	11	2'43"51"	22	65"49"
5区	15.8%	大西 毅彦	11	3'31"12"	10	47"21"
6区	12.5%	久野 雅浩	11	4'09"36"	29	38"24"
7区	15.5%	飛坂 篤恭	13	4'57"10"	13	47"34"

2012年 13位 4'56"29"

区間	距離	選手名	総合		区間	
			順位	タイム	順位	タイム
1区	12.3%	笹沼 悠司	21	0'36"17"	21	36"17"
2区	8.3%	E・ワウエル	3	0'58"46"	1	22"29"
3区	13.6%	大西 毅彦	11	1'38"57"	25	40"11"
4区	22.0%	梅枝 裕吉	12	2'44"04"	16	65"07"
5区	15.8%	飛坂 篤恭	14	3'32"05"	24	48"01"
6区	12.5%	山下 洸	12	4'09"32"	13	37"27"
7区	15.5%	大久保 幹也	13	4'56"29"	19	46"57"

2013年 23位 5'00"14"

区間	距離	選手名	総合		区間	
			順位	タイム	順位	タイム
1区	12.3%	笹沼 悠司	21	0'35"33"	21	35"33"
2区	8.3%	E・ワウエル	4	0'58"02"	3	22"29"
3区	13.6%	山下 洸	6	1'37"31"	20	39"29"
4区	22.0%	梅枝 裕吉	18	2'43"34"	28	66"03"
5区	15.8%	田中 貴章	20	3'32"47"	28	49"13"
6区	12.5%	北岡 幸浩	20	4'11"51"	22	39"04"
7区	15.5%	吉村 光希	23	5'00"14"	17	48"23"

【モットー】
原点復帰

【監督の抱負】

今季はチーム全体の底上げを図るべくスタミナ強化に取り組んできた。日頃から陸上競技部を支援してくださる会社、所属職場の方々、応援してくださる皆様の期待に応えられるよう、「攻め」の走りを目指し、古豪復活への第一歩を刻みたい。